



ボウリング大会

第14回大会が7月6日(土)豊岡アーバンボウルで小学生～大人までの32人参加で開催されました。各人2ゲームの合計得点プラス年齢・性別でハンディが与えられ総合得点で順位がきまります。

各レーンでは、上位入賞目指して、おおいに盛り上がり楽しく過ごしました。

上位入賞

優勝	西村 さかゑさん	354点			
準優勝	本荘 揚子さん	337点	3位	西田 清隆さん	302点



次回15回大会は令和2年2月22日(土)に予定しております。

多数の参加をお待ちしております。



さなぼり会

7月7日(日)ふれあい倶楽部で地域づくり部(宿南水利組合)主催で60人参加で開催されました。午前中は浜千代子ショーを楽しみ、昼食は花水木の会の方たちの手作りの冷やしうどんをおいしくいただきました。午後からはビンゴゲームを楽しみ、お茶をいただきゆったりとした時間を過ごしました。



八鹿病院健康講演会

7月23日(火)午後7時30分からふれあい倶楽部(35人参加)で副院長 福森豊和先生の「認知症の予防と治療」という演題で講演していただきました。誰でも起こりうる病気ですので、皆真剣に聞き入っていました。その後、住民懇談会に移り、院長先生、副看護師長に、日頃疑問に思っている事等を質問したり、病院側の説明を受けました。



こども園 作品展 小学 6年生

7月18日から開催中です。

こども園の和紙に絞り染めを施した作品と、小学6年生の線織面(せんしょくめん)という技法の作品を展示しております。

是非一度足をお運びご鑑賞下さい。

宿南小学校 6年生

7月5日(金)、6年生中学校登校で、
美術の授業を体験し、作成しました。
直線だけで曲線を描く
「線織面(せんしょくめん)」という技法です。



お知らせ



8月23日(金) 地蔵盆

宗恩寺境内で盆踊り大会

9月1日(日) 宿南地区一斉避難訓練

9月8日(日) 但馬クリーン大作戦

9月15日(日) 午前 小学校運動会

午後 地区運動会

雨天の場合

地区運動会 中止

小学校 15日 → 16日

(順延) 16日 → 17日

17日以降も順延



タウンミーティング



7月29日(月) 43人参加で養父市長を交えて開催されました。

テーマは 未来の“宿南”を語る

①青谿書院に関して ②宿南小学校の今後について ③防災について
活発な意見交換が交わされ予定時間を大幅超過で終了しました。



草庵先生紹介

日記 11



上流から社殿が流れて
きたという寄宮神社
葵さん作

池田草庵が川にでかけるのは、魚釣りだけではなかった。川に船を浮かべて楽しむこともあった。

「夜、寄宮に行って舟を浮かべて、楽しんだ。いっしょに行った者は数人。深夜に帰る」(嘉永4〈1851〉年7月5日)

草庵たちは寄宮で舟を浮かべ、それに乗っている。川面や周りの景色を見て楽しんでいただろう。寄宮は、養父市八鹿町宿南地区内にある集落の名前で、円山川に近い所にあり、青谿書院からは2キロ足らず。円山川はこのあたりから川幅がずいぶん広がっている。そこには用水路のための井堰いせきも作られていたので、川はある程度の深さや広さがあった。また、江戸時代の後半、円山川は舟運が盛んになり津居山(豊岡市)までの舟が行き来していたが、この地には、船着き場もあった。草庵はここにたびたび来ている。

「今日は、西村氏の招きに応じて塾生十数人を連れて寄宮の下に船を浮かべる。深夜に書院に帰る」(嘉永6〈1853〉年6月24日)

円山川は但馬の南端、朝来市生野町から北端の津居山まで、但馬を南北に縦断する川だ。

円山川の延長は68キロ、宿南はそのほぼ中間にある。この地域は、円山川の恩恵をたくさん受けて発展してきたが、また一方では洪水などの災害で苦しめられてもきた。

寄宮地区に残る言い伝えによると、昔洪水があったとき、上流から神社の社殿が流れ寄ってきて岩場の背に止まり、それを祀まつって神社にして、寄宮神社ができたという。地名の「寄宮」もそこから来たそうだ。円山川の歴史と共にある地区だ。

「(前略)夜、塾生等を連れて寄宮で舟を浮かべて遊ぶ。しばらくして帰院(後略)」(明治10〈1877〉年8月25日)この明治10年8月の頃は、草庵は自分の体の変調を自覚するようになっていた。11月末には治療のため半年ほど東京にでかけている。草庵が、円山川で船を浮かべて楽しんだのはこの夜が最後であった。

(提供 朝日新聞社)